

## 保健室で見つけたあったかーい話 “子どもから大人へ”

1時間目の途中に、両手で口を押えながら保健室に入ってきたAさん。入ってくるなり「先生、歯の取れたです。大人の歯ですか。」

心配そうな顔で聞くAさんに

「大人の歯じゃなかよ。」

大きく首を振り否定し、

「口の中、血だらけたいね。はよう、うがいばしんしゃい。」

そう言うと、処置台のそばに置いているコップを取り、数回うがいをしました。

「すっきりなったね。まだ、血が出ているから、これをしばらく噛んでいてね。」

と言って、Aさんの口にカット綿を含ませ、抜けた歯を見せながら

「Aさん、この歯は子どもの歯よ。子どもの歯が大人の歯に生え変わるとき、根っこがなくなるとよ。ほら見て、根っこのなかる。」

Aさんは、私の手の上にある抜けた歯をみて、納得したようです。

「大人の歯は根っこがしっかりしているから、自分から抜けんとよ。はい、この抜けた歯、おうちの人に見せてね。」

そう言いながら、抜けた歯をカット綿にくるみ、ビニール袋に入れて持って帰るように言う

「はい。」

安心したような顔を見せて、ビニール袋に入った乳歯を持って保健室から出て行きました。

放課後も、Aさんのように、抜けそうな乳歯がなかなか抜けず、悪戦苦闘しようやく抜けたBさんがいました。抜けた直後、Aさんと同じようにホッとした表情を見せていました。

小学生時代は、乳歯から永久歯に生え変わる大切な時期です。乳歯の下には、もう生え変わる事のない永久歯の頭が見え隠れしています。

11月8日は「いい歯の日」です。浜小では今日から1週間、食後の歯みがきカレンダーに取り組めます。家庭でも、声を掛け合って取り組んで欲しいです。

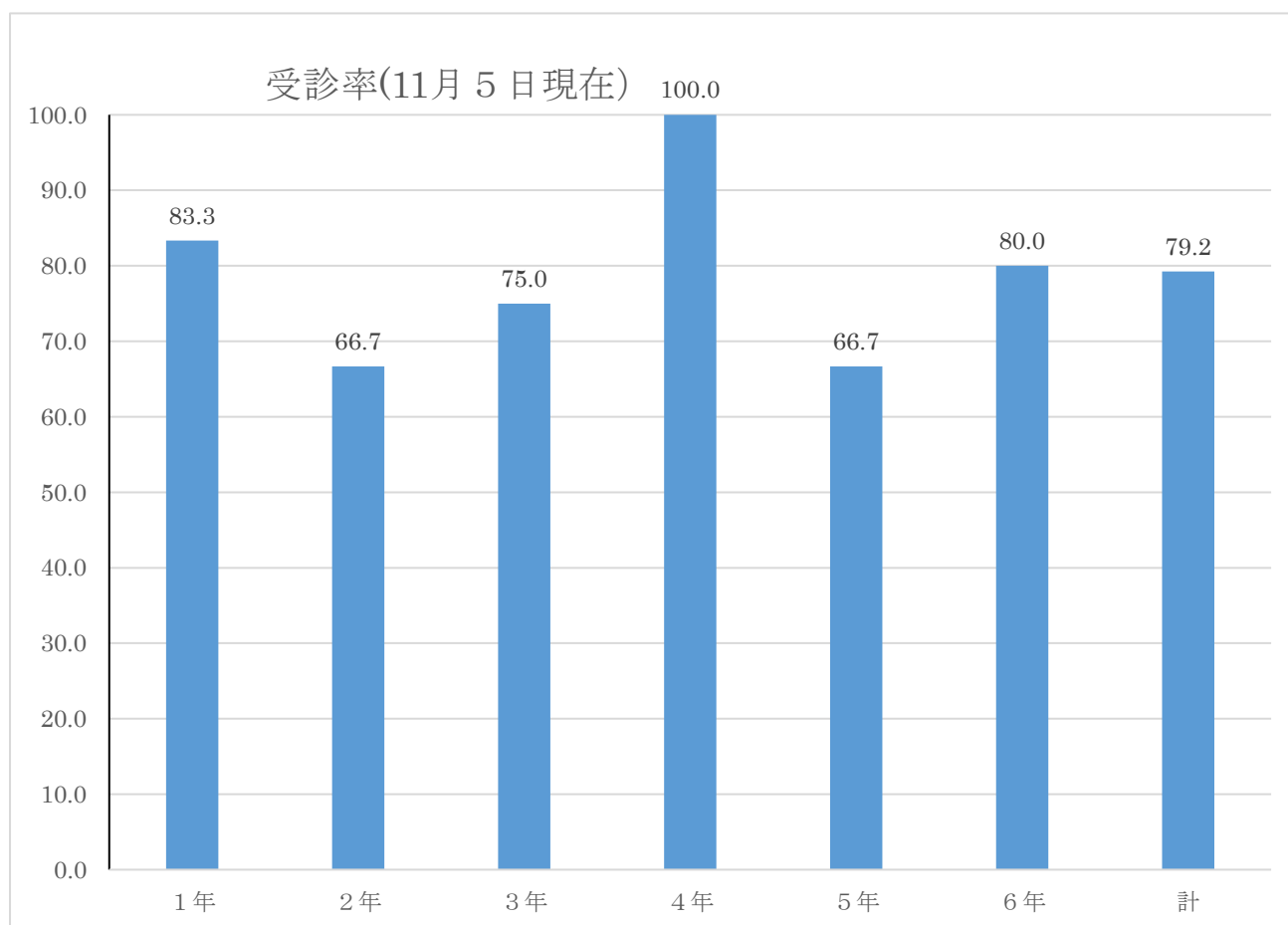
11月4日の佐賀新聞に、**社会参加が健康寿命伸ばす 歯科受診もプラス傾向** という記事が載っていました。その記事のなかに、歯科への通院が1割多いと健康寿命が0.5歳長くなっていたと書いてありました。小学生のころから歯に関心を持ち、むし歯はなくても歯科の定期検診が習慣になっていたら、自分の健康はもちろん、自治体、日本全体の医療費の抑制にもつながるのではないのでしょうか。

歯科受診をまだしていない人にお知らせをすると、乳歯のむし歯だからと返事を下さった家庭もありました。乳歯の下には、永久歯が控えています。どうか、早めに受診をして下さい。



## 歯科受診状況(11月5日現在)

	受診を要する児童	治療完了・治療中	未受診児童	受診率	未受診率
1年	12	10	2	83.3	16.7
2年	6	4	2	66.7	33.3
3年	8	6	2	75.0	25.0
4年	8	8	0	100.0	0.0
5年	9	6	3	66.7	33.3
6年	10	8	2	80.0	20.0
計	53	42	11	79.2	20.8



未受診者の家庭には、再度受診のお知らせをいたします。宜しくお願いします。